

「有田みかん大使」10期生募集について

有田みかんをより広くPRする施策として、「有田みかん大使」10期生の募集を実施します。期間中、全国各地で有田みかんのPRの活動を行います。

～2023年度「有田みかん大使」の主な活動～

イベントの出演や新聞記事掲載を通し有田みかんを効果的にPR活動を行いました。

また、量販店でのPR活動や、Instagram・X公式アカウントによるSNSを利用した発信においても積極的にPR活動を行いました。



「販売セレモニー」風景

●新聞社への表敬訪問

有田みかん 甘み、酸味絶妙

「王子」村松さん 本社でPR

何を迎えた和歌山特産「有田みかん」の早生品種の出荷を前に、「広報大使」の有田みかん大使として、村松健太さん(23)が1日、PRのために読売新聞大阪本社(大阪市北区)を訪れた一写真。

JA和歌山県農によると、順調な生育で、糖度の高いミカンになったという。有田ミカンは皮が薄く皮のまま味わえる。

大阪府福島区の大坂中央卸売市場本場で有田ミカン・早生(わせ)の初出荷セレモニーが9日あり、「有田みかん王子」「有田みかん大使」らが関係者にミカンを配って、おいしさをアピールした。村松さんは「限られた立地条件で生まれる甘味と酸味の最高のバランスをお楽しみください」と話している。【安田美香】

島区)に初出荷され、全国に広く流通する。今年は梅雨明け後の雨多きが影響し、例年より甘みが強いという。

村松さんは、みかんを四つに割って食べる「有田むき」を披露し、「甘みと酸味のバランスが絶妙で、ぜひ多くの人に味わってほしい」と話した。

年賀はがき販売開始
ミヤクミヤクのPR
大阪北郵便局

2024年の年賀はがき販売が1日、全国の郵便

読売新聞掲載面

「王子」が有田ミカンPR

甘みと酸味、味わって

島区)に初出荷され、全国に広く流通する。今年は梅雨明け後の雨多きが影響し、例年より甘みが強いという。

村松さんは、みかんを四つに割って食べる「有田むき」を披露し、「甘みと酸味のバランスが絶妙で、ぜひ多くの人に味わってほしい」と話した。

毎日新聞掲載面



読売新聞社での取材風景

有田みかん 自慢の早生召し上がり

日本最大のミカン産地、和歌山県有田地域一写真。みかんさんと語り合う晴光、水はけの良い土壌。そして、夏場に雨が少なく、年を過ぎて順調な成長に恵まれる。産地ミカンの生産量で日本一の産地不動のものとしています。

有田地域では「早生(わせ)みかん」の出荷がスタートしました。今年の「有田みかん」は果実がやや小ぶり、その分、果実に糖分が凝縮され、糖度が初めて糖味とのバランスも上々。出荷中の早生みかんと、12月からの「中生(ななか)みかん」「晩生(おくで)みかん」も併せて食べ比べてください。

問い合わせはJA和歌山県農果樹園芸部果実販路課の電話073・488・5581。

絶妙な酸味と糖分のバランスが

産経新聞掲載面